

～ 地域の定住人口・関係人口の増加による持続可能な地域づくり ～

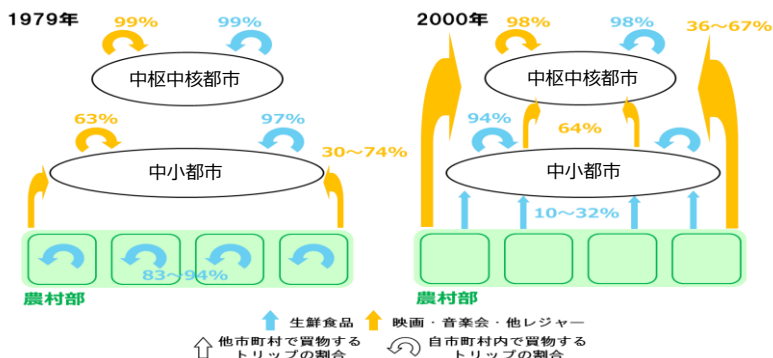
## ○専門委員会の設置趣旨

- 「住み続けられる国土専門委員会」では、国土形成計画の推進に関し、人口減少地域の住民の生活を守り、「住み続けられる国土」を維持するために講ずべき施策について調査
- また、「住み続けられる国土」とは、人々が世代を超えて、持続可能な暮らしを継いでいくことを可能にする国土であることから、本委員会では、その実現のために必要な政策のあり方を調査するため、長期的な視点を重視

## ○審議経過

### 【平成28年度】都市と農山漁村が活発に対流する地域構造

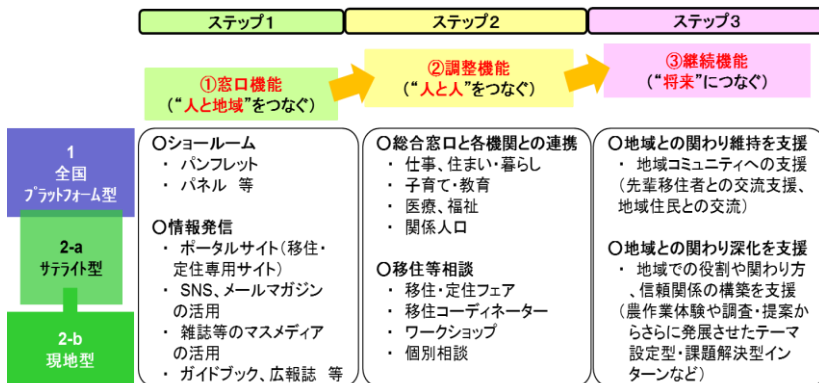
- 農村部など周辺地域の住民は、最寄りの中小都市を目的として選択しているが、休日は中枢中核都市に向かう移動が増加
- 高速交通ネットワークの進展により、従来の複合的な生活機能を網羅するような圏域が融解
- 中枢中核都市に近い中小都市において都市的サービスの縮小傾向



出典：谷口守・土木計画学研究・論文(2003)をもとに国土政策局作成

### 【平成29年度】移住・定住や地域との関わりに関するより効果的な施策展開

- 移住・二地域居住や地域との関わりを支援する関係人口の拡大・深化に向けた「つながりサポート機能」の強化の必要性
- 地域との関わりに応じた活動ステップによる分類・整理
- つながりサポート機能の強化には、サテライト型の機能強化と調整機能及び継続機能の充実の必要性



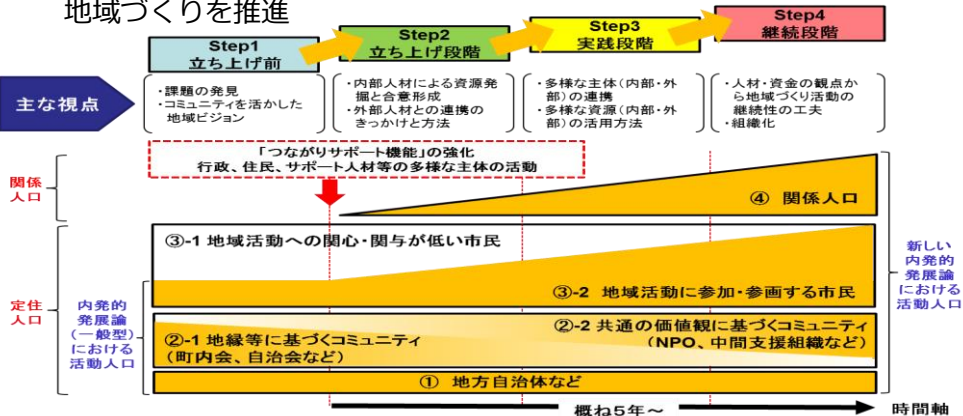
### 【平成30年度】新たなコミュニティの創造と新しい内発的發展が支える地域づくり

#### ○ 新たなコミュニティの創造

- 共通の価値観に共鳴した人々がつながり、コミュニティを創造
- 定住人口や関係人口に内在する活動人口の比率を高め、地域づくりの担い手を確保

#### ○ 内発的發展に向けた地域のプロセスデザイン

- ・ 外部アクターとの連携を強調する「新しい内発的發展」により地域づくりを推進



## 「住み続けられる国土」の実現に向けて

### 現状・問題点

- 地方部の人口減少
- 地域構造が変化し、従来の圏域は融解

地域の“担い手”と“生業”の確保が必要

地域の担い手が確保

価値でつながる  
新たなコミュニティの創造

関係人口の拡大及び深化  
（活動人口の増加）

「対流」を促進

ヒト・モノ・カネ・情報  
地域がつながる

価値創造  
（攻め）

生活支援  
（守り）

両輪の取組

生業が確保

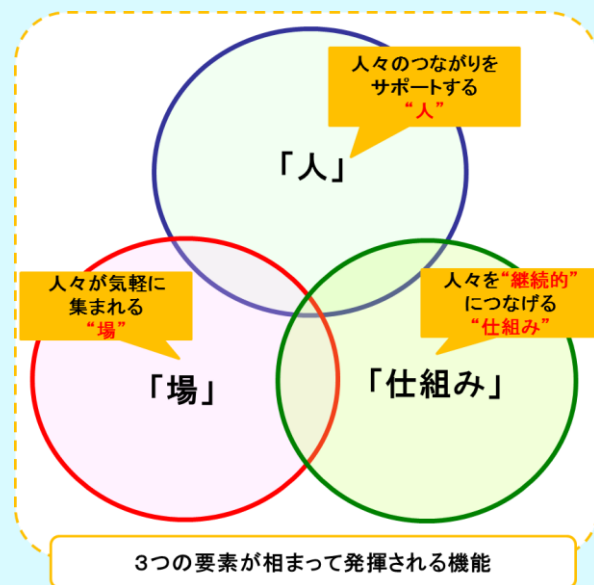
両輪の取組を  
プロセスデザインに基づき実施

新しい内発的发展

「住み続けられる国土」

“人”と“人”をつなげる3つの要素

「人」、「場」、「仕組み」の要素を一体的に実施



具体的な取組

### 施策の方向性

- 「人」：つながりサポーター等の人材育成、地域間の学び合い
- 「場」：つながりを創るための空間・滞在施設の整備、小さな拠点の機能強化
- 「仕組み」：地域との関わりを深化させる取組等つながりサポート機能の強化、シェアリングエコノミー（共有経済）の活用

### 将来に向けた検討課題

- ① 関係人口の拡大及び活動人口への深化に向けた類型化、定量化
- ② つながりサポート機能が有する仕組みの整理
- ③ ライフスタイルのマルチ化及びシェアリングエコノミー拡大
- ④ 高齢化する大都市への応用